



問 岩田川整備の現状と今後の取り組み、関係団体との関わりは

東日本大震災以降、国・県・市により高さ6メートルの海岸堤防の整備が進められているが、老朽化した岩田川の堤防は約3.2メートルで、地域住民は不安を感じている。津波の遡上^{そじょう}や激甚化する風水害に対応するべく早期の堤防改修が求められているが、整備の現状と今後の取り組みは。

また、関係自治会により設立された二級河川岩田川改修促進協議会とどう関わっていくのか。

答 県に対し、岩田川の堤防改修の早期着手を要望していく

岩田川は、河川管理者の三重県が策定した河川整備計画に基づき、洪水被害軽減を目的とした護岸整備が行われ、また、東日本大震災の発生を受け、下流部の堤防のずれやひび割れ、基礎部分の洗掘等の調査、対策工事が行われており、令和7年度からは激甚化、頻発する災害に対応するため、河川整備計画の見直しが三重県において実施されると聞いている。

津市としては、地域住民の安全・安心の確保に向けて、二級河川岩田川改修促進協議会と力を合わせ、三重県政に対する要望を継続しつつ、岩田川の堤防改修の早期着手を要望していきたい。

その他の質疑・質問

- 津城跡（お城公園）整備事業について
 - お城公園こども遊び場づくり事業の進捗状況、整備の基本的なイメージおよび今後の流れは
 - 津城跡の石垣等の保全、管理の考え方は
- 大門・丸之内土地・建物活用意向登録システムの運用状況やさらなる登録者の増加、活用に向けた取り組みは

津波の遡上から市民の生命と財産、都市機能を守るため河川堤防の強化を



問 7つの街道を活用した観光事業の活性化について問う

津市内には7つの街道が存在する。これだけ多くの街道を有している市は全国的にも珍しく、観光振興にも生かせるのではないかと考えるが、現在、津市ではどのような取り組みを行っているのか。

また、今後のさらなる取り組みについて考えていることはあるか。

答 関係団体と連携し、さまざまな取り組みを進めていく

市内を通る各街道沿いには、史跡や名所が点在していることから、街道巡りをしながらこれらの観光資源を楽しんでもらえるよう、鉄道会社と連携してウオーキングイベントを開催している。また、市内のボランティアガイド13団体が加盟する津市観光ボランティアガイド・ネットワーク協議会が主催するウオーキングイベントやバスツアーでもそれぞれの街道を巡り、観光資源を案内してもらっている。

今後もボランティアガイドや観光協会などの関係団体と連携し、津市を訪れて楽しんでもらえるような取り組みを進めていく。

その他の質疑・質問

- 新しい公共交通の運賃について
- 熱中症対策の予算について
- 仮想空間（ゲーム感覚）でのまちづくりについて
- 小中学校の野外でのイベントについて

広報津歴史散歩
総集編増補版

